

令和3年度第1回埼玉県利根地域保健医療・地域医療構想協議会 議事概要

- 1 日時 令和3年7月21日（水）19時00分から20時30分まで
- 2 場 所 Zoom 参加併用によるハイブリッド方式
幸手保健所 大会議室
- 3 出席者
 - ・協議会委員 31名（欠席2名）
 - ・事務局職員等 17名
 - ・一般傍聴人 4名
- 4 会長の選出
委員であり事務局責任者もある幸手保健所長が仮議長となり、会長に太田委員（独立行政法人国立病院機構東埼玉病院院長）を選出した。
- 5 議事概要
会長が次のとおり議事を進行した。
 - (1) 議事1「令和3年度利根地域保健医療・地域医療構想協議会の協議内容について」
 - 資料1-1、1-2に基づき、令和3年度の当協議会の開催予定、医療提供体制の整備について、保健医療政策課職員が詳細に説明を行い、資料1-3に基づき、利根保健医療圏の医療課題について、幸手保健所職員が詳細に説明を行った。
 - 【質疑・意見等】
 - ・高度急性期病床を持つ医療機関から現状を伺いたい。
 - 【新久喜総合病院】高度急性期病床を91増床し、満床で受けられなかった救急患者や重症患者の受入れが可能となり、増床の目的を果たしている。コロナ病床の12床についても、ここ1～2週間の増加に伴い、本日も満床である。引き続き救急医療を中心とした高度急性期医療を推進していきたい。
 - ・高齢化率の算定方法について、高齢化率の75歳以上の割合について、埼玉県と利根圏域では、計算方法が異なっているのではないか。
 - ご指摘のとおり、算出方法が異なっていたので修正する。
 - 地域医療構想コーディネーターからのコメント
フェイスシートがどうあるべきかについてアドバイザー会議で話題に出た。圏域ごと、また圏域内でも市町により、それぞれ状況が異なることが推測される。シートの作り方は、お任せするが、フェイスシートで

整理ができると、次へつながることが期待できる。

隣接する圏域との関係も重要である。利根圏域と状況が一致しているか、状況が異なる場合もある。隣接の医療圏との関係が強い場合もあるので、隣の地域の状況も落とし込めるとよい。

シート作成については、細かなデータが出てくると話がしやすい。県には10圏域あり、今後同様なシートが出来上がってくるので、互いのシートを見比べながら理解すると、わかりやすくなる。本日のシートをたたき台にして、さらにブラッシュアップし、次の議論に進むことが求められている。

(2) 議事2「埼玉県地域保健医療計画の中間見直しについて」

資料2-1、2-2、2-3、2-4に基づき、第7次埼玉県地域保健医療計画の骨子案、指標の変更、見直しスケジュール案について、保健医療政策課職員が詳細に説明を行った。

【質疑・意見等】

なし

(3) 議事3「令和元年度病床機能報告の定量基準分析結果について」

資料3-1、3-2、3-3に基づき、病床機能報告の定量基準分析の趣旨とこれまでの経緯、枠組み、考え方、指標及び令和元年度分析結果等について、保健医療政策課職員が詳細に説明を行った。

【質疑・意見等】

・昨年来、必要病床数の見直しについては、病床機能の過不足の認識が一致しておらず、議論が難航していると思う。いろいろな要素があるので難しいと理解している。一案として、2025年の必要病床数の計算方法で、現在の必要病床数を算出するのはいかがか。必要病床数も病床機能報告も定量分析も算出方法が異なるので、単純比較はできないという説明はいただいている。必要病床数と同じ計算方法で今を見て、将来と比較したい。現在の病床機能報告の結果と定量分析の結果とどれくらい差があるのか見ていくと、将来を見据えて、比較しやすいかと思うがいかがか。

→ 地域医療構想の必要病床数については、平成28年地域医療構想を策定する際、国から地域医療構想策定ツールが提供され、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計や医療需要の推計を基に算出している。基本的に2025年の地域医療構想を迎えるまでは、現状の数値のまま、数値の更新は行わない予定となっている。確かにそれぞれ積算方法が異なっているが、厚生労働省に確認したところ定量基準分析は、現状の最新の数字として報告いただいた病床機能報告の実績に基づき、現在の必要病床数と比較してどのくらい差があるのか参考に比較する趣旨の取組として考えている。

・以前、厚生労働省の官僚と話したことがあるが、昔決めた人口動態の将来予測が、あっているかどうか検証していない。実際に東部救急は、毎年救

急車が2パーセント増える予測だったが、逆に減っている。現実の修正を加えていかないと、どれくらい足りないのか何年後かに乖離が出てくる。国がやらないのなら県の今までの予測は合っていたのか一度検証していただきたい。

→いただいた意見をふまえ検討します。

- (4) 議事4「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について」
資料4に基づき、①公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証に至る経緯、②厚生労働省から提供されたデータの取扱い、③新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた再検証の期限等に伴う本県の対応について、保健医療政策課職員が詳細な説明を行った

【質疑・意見等】

なし

- (5) 議事5「第7次計画公募により病床を整備した医療機関からの運営状況の報告」

資料5-1に基づき、第7次地域保健医療計画に基づく病床整備の進捗状況について、医療整備課職員が詳細な説明を行い、資料5-2により新久喜総合病院から、資料5-3によりひかり会パーク病院から病床整備報告があった。

【質疑・意見等】

なし

- (6) 議事6「地域包括ケアシステム関係者意見交換会について」

第7次地域保健医療計画に基づく公募により地域包括ケア病床の増床が認められた医療機関との意見交換について、資料6-1、6-2、6-3により、幸手保健所職員が詳細に説明を行った。

【質疑・意見等】

なし

- (7) 議事7「羽生総合病院の開設者変更について」

資料7に基づき、羽生総合病院の開設者変更について、同病院院長が、詳細に説明を行った。

【質疑・意見等】

なし

- (8) 議事8「第7次地域保健医療計画の利根地域保健医療圏における取組について」

資料8-1、8-2及び8-3に基づき、第7次地域保健医療計画の利根保健医療圏における目標、主な取組及び実施主体、並びに、令和2年度取組実績及び、令和3年度実施計画について、幸手保健所職員が詳細な説明を行

った。

【質疑・意見等】

なし

○その他

次回協議会を令和3年11月頃に開催する予定である旨を幸手保健所職員が説明した。

以 上